



令和5年度 FCP 第4回若手フォーラム 参加者アンケート集計結果

農林水産省 FCP事務局

1. アンケート調査について

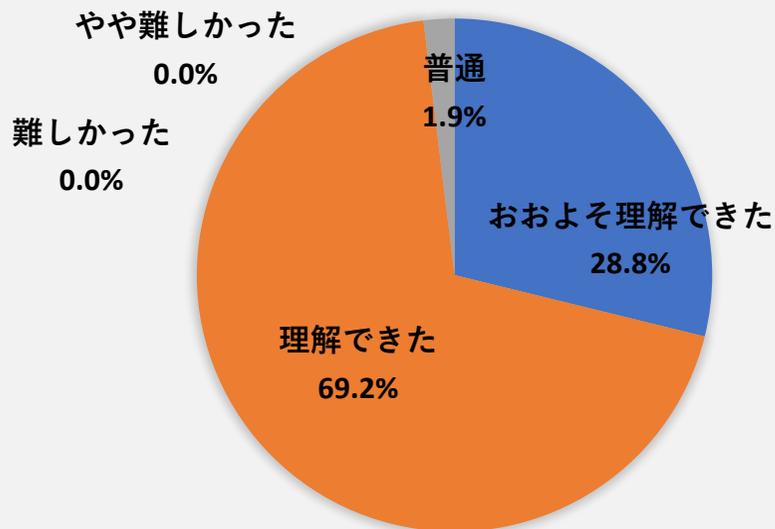
目的	次回以降及び、翌年度の若手フォーラムの運営や進め方、その他FCP活動の参考とするため、今回若手フォーラムに参加して感じたことや内容・進め方についてアンケート調査を実施
調査対象	令和5年度 第4回若手フォーラム参加者 55名（36社 2省庁） 欠席 7名
	有効回答者数 52名（回答率：94.5%）
方法	対面参加者は終了後、手書き回収。Web参加者は同アンケートをメール添付で提出
調査内容	<p>◇講演について（理解度及び意見・感想等） Q1) 講演「世界の食品トレンド」について （5段階評価及び自由記入）</p> <p>◇ワークショップについて（進行振り返り感想及び意見） Q2) ワークショップ1「第1～4回の振り返り」について （5段階評価及び自由記入） Q3) ワークショップ2「最終成果物の検討」について （5段階評価及び自由記入）</p> <p>◇全体を通しての感想（満足度及び意見等） Q4)（5段階評価及び自由記入）</p>

2. アンケート結果 (講演)

Q1 「世界の食品トレンド」について

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)

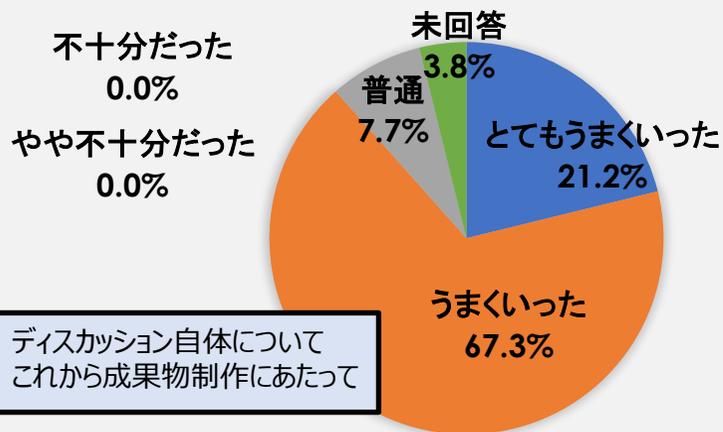
- 学び (学んだこと)、気づき、感想
- 今後の業務への活用



- 日本でのトレンドと世界でのトレンドの違いが分かって良かった。
- 世界のトレンドに目を向けることがあまりなかったため、大変勉強になった。
- 日本で遅れていることはもちろんあるが、強みもあるのだと感じた。世界の取り組みを知ることができたのはとても有意義だった。
- 「ポジティブに不完全」という所が新鮮だった。企業が努力していることをアピールしつつ、まだ足りていない部分も消費者に理解してもらい、誠実に訴求することで信頼を構築していけるのだと分かった。
- プラントベースでは弊社でも開発に取り組んでおりましたので、自分事として学習できました。
- 個人的にはプラントベース食品はメインにはならないと思っていたので、なぜ日本でまだ浸透していないのかという話は納得感がありました。
- 完璧な商品よりスピード感があり、正直な物の方が海外で評価されている事を初めて知った。
- 日本は消費者コミュニケーション不足 (企業から情報が一方) であることを感じた。
- トレンドが良くわかったがタイトルのつけ方が非常に上手で参考になった。
- SDGsについて各国で温度差があると分かった
- 日本の海外進出するにあたり、伝統的な魅力をうまく発信していけると良いと思った。トレンドについていける技術もともなっていく必要があるし、またついていけないなりにポジティブな発信ができると良いと感じた。
- 食品メーカーとして、単に売るだけでなく、改めて価値を再定義し、消費者に寄り添ったコミュニケーションをしていく必要があると感じた。

2. アンケート結果 (ワークショップ)

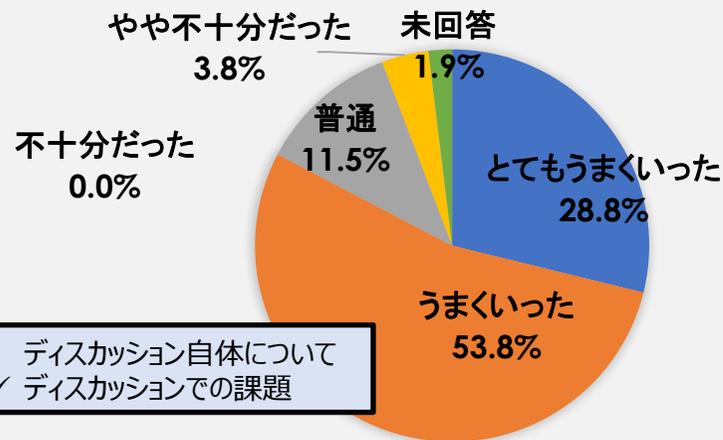
Q2 ワークショップ1「第1～4回の振り返り」について 評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)



- ・ ディスカッション自体について
- ✓ これから成果物制作にあたって

- ・ これまで学んできたことを段階で振り返ったことで得られた知識を再認識できてよかったです。また改めて様々な分野の企業と交流することでいろんな価値観を共有し、広い視野でみれるようになったと実感しました。
- ・ 別の会社・立場の方の意見を聞いたことが、見方の違いを知るきっかけになりました。
- ・ 第3回まではまだワークショップという感じではなかったが、第4回で目標ができたことで今までとは違う雰囲気を感じます。
- ・ 皆、食品会社ということもあり、悩んでいること、興味を持ったことが同じだったため、方向性が同じだった。
- ✓ チームの人間の多くが、自分と同じ意見を持っていることが分かり、プラスの感情もありながら、これまでの内容から個性的なものでないことに少しだけ不安を感じた。
- ✓ ゴールはうっすら見えているが、中身をつめるのが難しいと思いました。民間の人の立場にたって考えるのは面白いなと思います。
- ✓ 消費者に企業側の意見があまり伝わっていない事についての議論になった。消費者と企業側お互いにwinwinとなるような事を考えていきたい。

Q3 ワークショップ2「最終成果物の検討」について 評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)



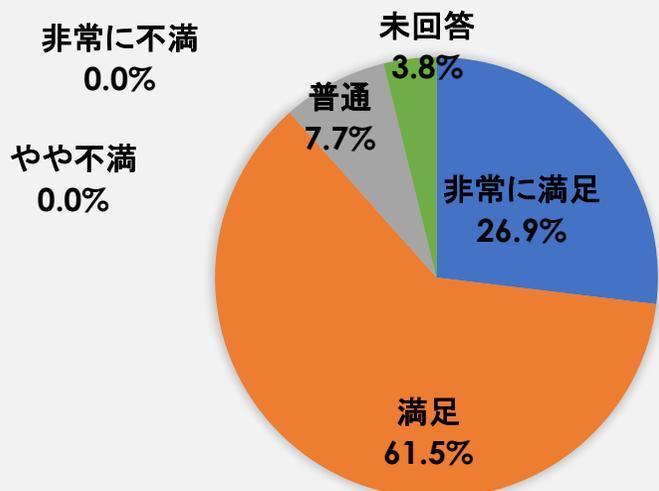
- ・ ディスカッション自体について
- ✓ ディスカッションでの課題

- ・ 最初はなかなか進まなかったが、皆のアイデアを出し合い、今までにない最終成果物の提出できそうで、楽しみです。
- ・ 困っていることについて、多く交流できて興味深かったです。協働を意識したものができるように努めていきたいと思えます。
- ・ それぞれ意見を出し合えた。意見をムリに合わせるのではなく、“それはどうなの？”といった意見出しもできた。
- ・ リモート参加で難しい部分もあったが、チームメンバーやファシリテーターの方が気遣ってくださり、意見を述べる事ができた。
- ✓ なかなか意見がまとまらず、このテーマの難しさを感じました。最終日までになにかあうのか・・・。
- ✓ 自由度が高くテーマを一つに絞るのが難しかったが、意見を出し合う中で徐々に集約されていった。考えるのが楽しかったです。
- ✓ テーマが広すぎるため、時間が足りない。
- ✓ 成果物のゴールが見えず、話を進めるのがむずかかった。

2. アンケート結果 (全体を通して)

Q4 全体を通しての感想 (満足度及び意見等)

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)



- 感想
- 事務局への要望

- 様々な業種の方からの目線で意見交換ができ、非常に貴重な機会だなと感じています。
 - 今までよりもみなさんとお話できました。
 - 話に行き詰った時は、そもそも何を考えているのかテーマに戻り考え直すことで話を進めることができました。チームの色を出せば良いと思います。
 - 講義の内容にひっぱられすぎている。もう少し、発表の枠におさまりやすい内容であればよかった。
 - 過去の事例のふりかえりがあるともう少し具体的なアイデアがでたかもしれません。
 - 第1回以外全てオンラインでの参加となり、少しついていけないと感じています。
- 曜日なのですが、週の真ん中ではなく月曜日や金曜日などの選択肢があると助かります。
 - 次回、成果物作成にみんなPCを持って来ると思います。十分な電源の確保をお願いしたいです。
 - (多くの方からのご要望) 12月に(農林水産省内の)会議室を開放してもらえると発表の準備ができるので助かります。

2. アンケート結果 (最終成果物の検討の進捗等)

<最終成果物の検討の進捗>

A	<ul style="list-style-type: none"> 最後のタイミングで良い案ができました！ 最初はなかなか進まなかったが、皆のアイデアを出し合い、今までにない最終成果物の提出できそうで、楽しみです。 	とてもうまい うまい 普通	3 3 2
B	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題や取組内容が決まった。 まだまだ内容が詰まっていらないのですが、おもしろくなりそうです。 	とてもうまい うまい 普通	2 7 1
C	<ul style="list-style-type: none"> 方向性が早めにまとまり、これまでで一番活発な意見交換ができた テーマ決めから具体例の構築を皆で協議することができた。 	とてもうまい うまい	3 6
D	<ul style="list-style-type: none"> ファンリテーターのまとめや難問提示により、上手く軌道にのったと感じました。 自由度が高くテーマを一つに絞るのが難しかったが、意見を出し合う中で徐々に集約されていった。 なかなか意見がまとまらず、このテーマの難しさを感じました。最終日までにまにあうのか…。 	とてもうまい うまい 普通 やや不十分だった	2 4 2 1
E	<ul style="list-style-type: none"> 今まで感想を言い合うだけだったが、成果物という事でまとまりができたと感じています。 進め方の自由度が高くて難しかったです。 	とてもうまい うまい 普通 やや不十分だった	1 6 1 1
F	<ul style="list-style-type: none"> 発表形式や流れまでまとめることができて良かった。 ストーリー構成まで詰めることができた 	とてもうまい うまい	4 2

<Web参加者から>

- 第1回以外全てオンラインでの参加となり、少しいけないと感じています。

3-1. Q1. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「世界の食品トレンド」について 次ページに続く

- これからの商品開発の方向性について学ぶことができた。海外の動向は日本に遅くとも反映されていくと思いますので、一足先に導入したいと思った。
- 世界の食のトレンドについて、キーワードを用いて紹介して下さったのがとても分かりやすかったです。特に認証マークやサステナビリティに特化した商品など、自身が所属しているコープでも力を入れて取り組んでいることですので、より共感しながら聞かせていただきました。
- 世界のトレンドが日本とかなり異なっていて興味深かった。
- 世界のトレンドは数年後には日本に到来することと、日本の未来を知ることができて大変興味深く、お話を聞かせて頂きました。表示について、あえて現状を記載することで、お客様の信頼を得るという視点は面白いと感じました。日本でも、あたりまえに表示できる日がくれば嬉しいです。
- 世界のトレンドをあまり考えたことはありませんでしたが、世界のトレンドはいずれ日本のトレンドになるということをお話いただき、今後は意識してみたいと思います。
- 開発担当のため非常に勉強になった。
- 世界の食品トレンドを理解できた。今回学んだトレンドの一部は日本の食品・飲料・外食の大企業においても広告されているものがあるように感じた。日本の海外進出するにあたり、伝統的な魅力をうまく発信していけると良いと思った。また、トレンドについていける技術もともなっていく必要があるし、またついていけないなりにポジティブな発信ができると良いと感じた。
- 知らなかった食のトレンドを多く知ることができ、勉強になりました。社内メンバーとも共有します。
- 日本でのトレンドと世界でのトレンドの違いが分かって良かった。
- とても興味深い内容でした。個人的にはプラントベース食品はメインにはならないと思っていたので、なぜ日本でまだ浸透していないのかという話は納得感がありました。また、世界のトレンドをつかむことが企業が生き残る道なのだと思います。
- 知らないことが多くおもしろかったです。10コのトレンド、毎年気になりそうです。
- 「Trend10ポジティブに不完全」は日本の消費者の傾向から、なかなか難しい気がしましたが、消費者とのコミュニケーションツールの一つとして活用できる例だと感じた。
- 普段聞くこと、聞くことができない話を聞くことができ、有意義でした。
- 大変興味深く、なぜ日本ではそこまで流行していないのか聞くことができておもしろかったです。もっと、日本から発信できるものがあるといいなと思いました。世界の進んだ？変わった食のトレンドを知ることができて良かったです。
- 非常におもしろい内容でした。世界のトレンドや各企業の取組を知ることができました。
- どれもとても興味深かったです。特にプラントベースでは弊社でも開発に取り組んでおりましたので、自分事として学習できました。
- 完璧な商品よりスピード感があり、正直な物の方が海外で評価されている事を初めて知った。
- 講演頂いたように、プラントベースはそこまで売れ行きが良くない気がします。その理由としては、お客様は健康志向の意識からプラントベースを求める人がいますが、実際はカロリーも高いので、そこまでなじまないと思いました。
- 食トレンドの最新を知れて大変参考になりました。特に“ポジティブな不完全”はこれまで“100%”でない则表示してはいけないと思い込んでいたため、考え方が変わりました。
- 食品表示についても、国際化を検討している中で、日本は世界と比べて遅れている点がいくつかあることについて知ることができ良かったです。

3-1. Q1. ご意見・ご感想 (全コメント)

講演：「世界の食品トレンドについて」次ページに続く

- 食に関わる者としても、いち消費者としても興味深い内容だった。国内でもかなり植物性由来の製品が流行しているイメージだったが、やはり高いし、調理法も迷ったりするので、もっと消費が広がれば色々なアイデアが出てくるのかなと思った。
- 国内だけではなく、世界の情報は大変重要ですがどのように取得するかは難しいところですが提供くださる企業があることを知りました。
- 世界のトレンドに目を向けることがあまりなかったため、大変勉強になりました。
- 世界でトレンドになったことはいずれ日本でもトレンドになるということが印象的だった。日本で遅れていることはもちろんあるが、強みもあるのだと感じた。世界の取り組みを知ることができたのはとても有意義だった。
- 食品カテゴリー全体のトレンド「TOP TEN TRENDS」の精度が高いことを紹介していただいたが、特に「ポジティブに不完全」という所が新鮮だった。企業が努力していることをアピールしつつ、まだ足りていない部分も消費者に理解してもらい、誠実に訴求することで信頼を構築していけるのだと分かった。
- 健康表示に対して7割程の消費者が、部分的、又は信用していない調査結果が印象的で、完璧ばかりを求めず、企業の正直な課題を伝える表示の方が消費者の理解を得やすいことが納得できた。
- 新しい食文化にとまどうことがあるので、もっと世界の食トレンドに興味を持って情報収集していきたい。
- 分かりやすく10点になっていて大変勉強になりました。
- 社内で食のトレンドについて学ぶことがない為とても参考になりました。食品に関わる会社にいる上で今後も学んでいく必要があると感じました。
- とても興味深い内容でした。弊社でもプラントベースの新商品の相談が来ていることが多くっており、今までは「プラントベース」を満たすような完璧な生産ラインが作れないからと難色を示してましたが、考え方を変えるのはありだなと思ってきました。
- オンラインでの参加となり、会場で参加できなかったが、発想の転換となるようなお話も多く興味深かった。
- 大変参考になった。日本は消費者コミュニケーション不足（企業から情報が一方向）であることを感じた。
- 世界のトレンドを知ることが、今後の商品に生かせる。日本は世界に比べて遅れていることが多い。
- 世界のトレンドと日本のトレンドがなぜこうも違うのか考えさせられました。
- 世界トレンドのスピード感や消費者に対するアプローチの仕方に違いを感じた
- 社内でもよく耳にするワードが多かったです。不完全なポジティブ、おもしろいと思いました。
- SDGsについて各国で温度差があると分かった
- トレンドと聞くと何となく流行のイメージでしたが、今回の講義を聞いて具体的なイメージができたと思います。想像以上に面白い内容で聞いていて楽しかったです。
- トレンドが良くわかったがタイトルのつけ方が非常に上手で参考になった。
- 世界のトレンドを深く知ることができた。海外の取り組みを知れて、日本も遅れをとっていないことを知った。これからも情報収集していきたい。
- 新たな発見というよりは、激動の潮流を整理する機会となった。「サステナビリティ」「健康と安心」など10個のトレンドを大きなテーマでいくつかくくれそう。そうすることでより根本的な消費者理解につながりそう。
- 世界のトレンドを聞いて興味深かったです。今の日本や自分の会社にも活かせるような可能性のある話でした。
- 弊社でも取り扱いのある植物性たんぱく質商品の今後世界で求められているポイントや、日本企業と異なるアプローチをする世界企業（カンペキを求めず、不完全さを明らかにすることが逆に企業の誠実性につながる）などが非常に興味深かったです。

3-1. Q1. ご意見・ご感想 (全コメント)

講演：「世界の食品トレンドについて」 続き

- トrendの内容はとても興味深く仕事にも活かせるものだった。
- 世界の最新食品トレンドの紹介及びこれからの時代のトレンドを考える機会がありました。とてもおもしろかったです。
- 世界の食トレンドの各項目が具体的で非常に参考になった。食品メーカーとして、単に売るだけでなく、改めて価値を再定義し、消費者に寄り添ったコミュニケーションをしていく必要があると感じた。

3-2. Q2. ご意見・ご感想 (全コメント) ワークショップ1「第1～4回の振り返り」について 次ページに続く

- これまで学んできたことを段階で振り返ったことで得られた知識を再認識できてよかったです。また改めて様々な分野の企業と交流することでいろんな価値観を共有し、広い視野でみれるようになったと実感しました。
- チーム内、皆の振り返りを行い、各自で意見を出し合うことができました。第1回～第4回を通して話し合ったこともあり、最終着地の意見はみんな似ていました。
- エシカル消費について話し合いました。
- 意見・認識の共有ができた。
- 印象に残っていることがみんな共通していることが多かった。
- Bチームの人間の多くが、自分と同じ意見を持っていることが分かり、ラスの感情もありながら、これまでの内容から個性的なものでないことに少しだけ不安に感じた。
- 割とみんな似たところが課題感があるので、ふりかえりについてはすんなりいった気がします。
- 皆さん同じような意見が多く、課題が沢山あると思いました。
- リモート参加で難しい部分もあったが、チームメンバーやファシリテーターの方が気遣ってくださり、意見を述べる事ができた。
- 意見をメンバーの方々から活発に出してもらい、円滑に進んだ。
- ゴールはうっすら見えているが、中身をつめるのが難しいと思いました。民間の人の立場にたって考えるのは面白いなと思います。
- 皆さんの意見を取り入れていただき、発表内容を決めることができた。
- 改めて振り返りができて良かったです。企業、団体によって、心象が残ったところも違いがあり、また共通するところも気づきがあって指摘をもらいました。
- 割と各々が印象に残っていたことが同じであり、消費者に企業側の意見があまり伝わっていない事についての議論になった。消費者と企業側お互いにwinwinとなるような事を考えていきたい。
- 意見が大まかに一致して議論が進みやすかった。
- メンバーのほとんどが「エシカル消費」について考えていることがわかり、各自の考える「エシカル」を再度確認しながら、理解を深めることができました。
- グループ内で同じテーマが印象に残っていたので、中身まで意見交換することができて有意義な時間になった。
- みなさんの意見をきくことができてよかったです
- 別の会社・立場の方の意見を聞いたことが、見方の違いを知るきっかけになりました。
- チーム全員で意見を出し合いまとめ、共通の方向を向き議論できた。
- テーマを決めるのがむずかかった。
- テーマはどのチームも似ているので、内容をいかにおもしろくするか考えていきたいです。
- これまでの話し合いを振り返り、時に懐かしくなりながら振り返りをする事ができた。
- 共通項が多かった。消費者コミュニケーション、エシカル消費、認証
- 皆、食品会社ということもあり、悩んでいること、興味を持ったことが同じだったため、方向性が同じだった。
- みんなの意見を引き出しながら話し合えた。
- 各自やりたいことの意見が出？
- 第4回の内容も振り返ることが多かったです。

3-2. Q2. ご意見・ご感想（全コメント） ワークショップ1「第1～4回の振り返り」について 続き



- メンバーが全員強みを持っていてその良さを活かしていると思う。
- 各自所属している企業の価値観や個人の考えをもっていろいろな意見が出ておもしろい。ただ、議論の目的（今日の場合、成果物のテーマ決め）があるので、リードしたり、とりまとめて結論を出すことは必要。
- 第3回まではまだワークショップという感じではなかったが、第4回で目標ができたことで今までとは違う雰囲気を感じます。
- 自分の考えと他者の考えの違いがよく理解できた。
- リーダーが主導してくれてスムーズに話せました。前回盛り上がった皆が気になっていることをテーマにあげられました。
- 皆の関心事が共通していたので、最初から深掘することができた。

3-2. Q3. ご意見・ご感想（全コメント） ワークショップ²「最終成果物の検討」について

- 最後のタイミングで良い案ができました！
- テーマ「エシカル消費」を設定し、最初はなかなか進まなかったが、皆のアイデアを出し合い、今までにない最終成果物の提出できそうで、楽しみです。
- エシカル生活をするようになりました。
- 思わぬアイデアが出てよかったと思います。
- 活発に意見が出て盛り上がりました。
- 教育、啓蒙、と消費者との勝ちの擦り合わせ、について考えさせられた。アプローチも異なってくるのかと感じた。
- みんなの意見をまとめて方向性を決定することができた。もう少し意見を引き出せたらよかったという点について少し反省しています。
- 意見をまとめ、何をどのようにまで決めるのが難しかったです。日々困っていることも共有できました。
- リモート参加で難しい部分もあったが、チームメンバーやファシリテーターの方が気遣ってくださり、意見を述べることもできた。
- 話しあいたいことはある程度まとまったので、上手くいったと思います。
- まだまだ内容が詰まっていないのですが、おもしろくなりそうです。他者の悩みなどを1つにできるのはわくわくしています。
- 今後の課題や取組内容が決まった。
- 困っていることについて、多く交流できて興味深かったです。協働を意識したものができるように努めていきたいと思います。
- 今後集まる機会があれば打ち合わせで大会議室を使いたいと考えております。
- 方向性が早めにまとまり、これまでで一番活発な意見交換ができた。
- エシカル消費を循環させることがビジネスにつながっていくと考え、今後は具体的な仕組み作りを進めるて行きたいと思います。
- それぞれ意見を出し合えた。意見をムリに合わせるのではなく、“それはどうなの？”といった意見出しもできた。
- ある程度具体的なところまで決めることができてよかったと思います。
- 方向性の決定から枠組みの作成までできました。さまざまな立場の意見を取り入れて話し合えたと思います。
- 色々な意見が具体的にあがり、最終成果物のゴールが見えるワークとなった。
- テーマ決めから具体例の構築を皆で協議することができた。・エシカル消費をまず知ってもらう⇒消費を促す行動につながればよいと思った。⇒内容ではなく価値を共有していく。情報提供側の信頼を高めていくにはそうするか考えていきたい。
- テーマに基づきどのような発表にするか、そもそも“エシカル消費”とは何か改めて難しく感じたが、引き続き1/25までの課題を考え、チーム全員で協力してまとめて行きます。
- 成果物のゴールが見えず、話を進めるのがむずかしかった。チームのみなさんと意見交換を活発にできると楽しかった。
- なかなかまとまらなかったですが、意見を交わらせて大変よかったです。
- ファシリテーターのまとめや難問提示により、上手く軌道にのったと感じました。
- なかなか意見がまとまらず、このテーマの難しさを感じました。最終日までにはまにあうのか・・・。
- これまでの話し合い以上に様々な意見が出て一時混乱したが、良い発表ができそうに思う
- 自由度が高くテーマを一つに絞るのが難しかったが、意見を出し合う中で徐々に集約されていった。考えるのが楽しかったです。

3-2. Q3. ご意見・ご感想（全コメント） ワークショップ2「最終成果物の検討」について 続き

- 自由すぎてなにをまとめたらいいかわからない。直前の内容にひっぱられ、発表しにくい話題ばかり出てしまった。発表しやすい内容（実現できそうなこと）をもう少し話し合うべきだと思う。
- 話し合いはよくできたが時間オーバー、まとめきれなかった。
- プル型のコミュニケーションをテーマに議論したが、コミュニケのギャップより、食品表示に特化したアンケートのあるべき姿にすることを検討できた。
- 進め方の自由度が高くて難しかったです。
- 今まで感想を言い合うだけだったが、成果物という事でまとまりができたと感じています。
- テーマが広すぎるため、時間が足りない。
- 発表形式や流れまでまとめることができ良かった。
- ストーリー構成まで詰めることができた

3-3. Q4. ご意見・ご感想 (全コメント)

全体を通しての感想 次ページへ続く

- 過去の事例のふりかえりがあるともう少し具体的なアイデアがでたかもしれません。
- フィードバックとは別で第5回までにチーム内で打ち合わせをする場合、農水省の会議室を抑え、利用させて頂きたい。
- 様々な業種の方からの目線で意見交換ができ、非常に貴重な機会だなと感じています。
- 今までよりもみなさんとお話できました。
- 最終成果物に向けての取組みをチームメンバー全員が楽しめるものにしていきたいと思います。
- 1番おもしろい講演でした。もっと世界のトレンドをしりたいなと思います。成果物をつくのも苦手だからこそその意見があって、興味深いです。
- 普段関わることがあまりない食品企業の方々と話すことができたり、お話をきくことができた。とてもいい機会を得られた。
- 講義の内容にひっぱられすぎている。もう少し、発表の枠におさまりやすい内容であればよかった。
- 話に行き詰った時は、そもそも何を考えているのかテーマに戻り考え直すことで話を進めることができました。Cチームの色を出せば良いと思います。

(以下、会議室貸出の要望)

- まだ次回開催までに打合せをするかは未定ですが、もし可能でしたら農林水産省の会議室を使用させていただいたらありがたいです。
- 日程は決定していませんが、次回の打ち合わせの際も農林水産省様の会議室を利用させて頂ければと思います。よろしく願いいたします。
- チームのFCPタイミング以外での打合せのために農水省の会議室を使わせてもらえるとありがたいです。(可能であれば、1/31以外も)
- ありがとうございました。
- MTGを定期的に行う際、農水省の会議室を使わせて頂きたいです。
- もし最終発表のためにチームで集まる場合があれば、農水省の会議室を使用できるとありがたいです。
- 最終発表まで残り1回のため、予備日として会場等を提供いただけると幸いです。
- 打ち合わせに農水省の会議室を使わせていただけるとありがたいです。次回、成果物作成にみんなPCを持って来ると思います。十分な電源の確保をお願いしたいです。
- 次回までに少し時間があるため、グループで集まって最終課題について話し合うために、会議室などかしていただくと助かります。
- 第5回の前に打ち合わせを実施する場合に農水省の会議室を使用させていただくと幸いです。
- 第5回までに最終成果物がまにあわなかったらどこの会議室をお借りできたら嬉しいです。
- 難しいかもしれませんがもし可能であれば今後の開催日程が早めに分かるとうれしいです。また、12/7に事前にワークをしたいので場所の提供があるとありがたいです。
- 今まで以上にコミュニケーションをとることができました。
- FCPの発表のため、農水の会議室が借りられるとありがたいです！なかなか話し合いをまとめるのが難しかったので・・・。
- 対面かWeb参加でお手数をおかけしました。次回もよろしく願いいたします。
- 農水の会議室が使用できるとありがたいです。
- 発表の資料作りの場に、農水省の場を借りたいです。
- Dチームに12/7(木) 13:00~17:00打ち合わせのため、会議室を借りたいです
- 12月中にも集まれる日を設定していただきたいです。

3-3. Q4. ご意見・ご感想 (全コメント)

全体を通しての感想 続き

- 12月に会議室を開放してもらえると発表の準備ができるので助かります。
- 1/25より前にもグループで話し合いたいので、農水省のいつもの会場を貸してください。1/25までに2回くらい借りられると嬉しいです。
- 第1回以外全てオンラインでの参加となり、少しついていけないと感じています。曜日なのですが、週の真ん中ではなく月曜日や金曜日などの選択肢があると助かります。
- 12月中に複数回会議室を農水省で確保してほしい。
- 12月後半に発表準備のために農林水産省会議室をお貸しいただけないでしょうか？
- 次回の1月だと間があいてしまうので、12月に会議室を使わせていただきたいです。
- 2月の発表に向けて、12月に農水省の会議室を使わせて頂きたいです。
- 12月（もしくは1月の早い時期）に会議室をどこか開放していただけると非常に助かります。ご協力をお願いいたします。
- 打ち合わせに農水さんの会議室を使わせてほしいです。
- 農水省の会議室で打ち合わせできるとありがたい（12～1月）
- 農水さんの会議室を使わせて頂きたいです・・・（チームで集まりたい時）
- 会議室使いたいです。